室蘭市病院事業中期経営計画の平成１8年度の進捗状況

近年の医療需要は、医療技術の高度化、高齢化社会の急速な進展による老齢人口の増加により複雑多様化の傾向にあります。一方、病院事業を取り巻く経営環境は、医療保険制度や診療報酬体系の改正などにより大変厳しい状況となっております。このような状況の中、将来にわたり質の高い医療を安心・安定的に提供するため、経営の総点検を行い効率的で計画性・透明性の高い病院経営ができるよう「中期経営計画」（平成 17年度～21年度）を策定して経営の改善に取り組んでおります。

以下、平成１8年度における経営状況についてお知らせいたします。

１収支の状況

市民の医療需要に対応した医療器機器具を更新しました。18年度は不良債務が発生しましたが、年度末不良債務は計画の約 11億 8,400万円に対し約 10億 7,700万円となりました。

（単位：千円）

			平成１8年度		差（B-A）
			計画　A	決算　B	
収益的収支	経常収益		9,199,607	8,888,086	△ 311,521
		診療料金	8,356,493	8,032,389	△ 324,104
		他会計補助金等	843,114	855,697	12,583
	経常費用		9,841,976	9,603,737	△ 238,239
		人件費	4,688,283	4,669,479	△ 18,804
		物件費等	5,153,693	4,934,258	△ 219,435
	経常損失		642,369	715,651	73,282
	特別利益		500	4,697	4,197
	特別損失		21,029	19,427	△ 1,602
	純損失		662,898	730,381	67,483
資本的収支	収入計		459,016	607,789	148,773
		企業債		150,000	150,000
		他会計補助金等	459,016	457,789	△ 1,227
	支出計		740,140	887,684	147,544
		建設改良費	52,207	199,752	147,545
		企業債償還金	687,933	687,932	△ 1
不　良　債　務			1,184,416	1,077,003	△ 107,413

2財務分析指標

診療料金収入が計画に届かなかったため、各種比率は不良債務比率を除き計画を下回る数値となりました。

項　　目	平成 18年度		差（B-A）
	計画（A）	決算（B）	
経常収支比率	93.5%	92.5%	△ 1.0%
不良債務比率	13.8%	13.1%	△ 0.7%
累積欠損金比率	120.0%	123.3%	3.3%
人件費比率	54.6%	56.6%	2.0%
同（退職給与金を除く）	52.5%	53.6%	1.1%
繰入金比率	10.8%	11.0%	0.2%
職員一人当たり医業収益	17,058 千円	16,829 千円	△ 229

☆経常収支比率　　経常費用に対する経常収益の割合を示し、100%以上が健全な経営といえます。
☆不良債務比率　　医業収益に対する不良債務の割合を示します。
☆累積欠損金比率　医業収益に対する累積欠損金の割合を示します。
☆人件費比率　　医業収益に対する人件費の割合を示します。
☆繰入金比率　　総収益（収益的収入＋資本的収入）のうち繰入金が占める割合を示します。

3職員数の状況

医師や看護師など当院の正職員数は表のとおりとなっております。

（単位：人）

区　分	H18.4.1（B）	H19.4.1（B）	差（B-A）
医局	116	118	2
看護局	323	327	4
薬局	13	12	△1
事務局	46	34	△12
合計	498	491	△7

4患者数の状況

平成 18年度の入院、外来別の延患者数は表のとおりとなっております。

（単位：人）

項　目		平成 18年度		差（B-A）
		計画（A）	決算（B）	
入院	延患者数	202,575	192,525	△10,050
	一日平均	555	528	△27
外来	延患者数	303,579	290,061	△13,518
	一日平均	1,137	1,086	△51

5設備投資の状況

平成18年度は、オープン型ＭＲ装置や生体情報モニターシステムなど 14件の医療機器の更新や整備を行いました。

（単位：千円）

内　容	平成18年度		差（B-A）
	計画（A）	決算（B）	
医療機器	155,000	151,086	△3,914

6経費削減等の財政効果

平成 18年度の経費削減等の取組みによる効果額は、収入、支出を合わせて約 2億 4,700万円で計画より約 1億 2,200万円上回りました。

（単位：千円）

項　目		平成 18年度		差（B-A）
		計画（A）	決算（B）	
収入	看護職員配置の見直し	30,000	133,143	103,143
	服薬指導の強化	2,800	5,535	2,735
	集中治療室管理料	78,000	75,100	△ 2,900
支出	人件費削減	17,981	17,696	△285
	材料費削減	10,000	26,924	16,924
	賃借料の見直しによる削減	0	2,537	2,537
	委託業務の見直しによる削減	2,400	2,788	388
	SPD委託料	△16,620	△16,620	0
合計		124,561	247,103	122,542